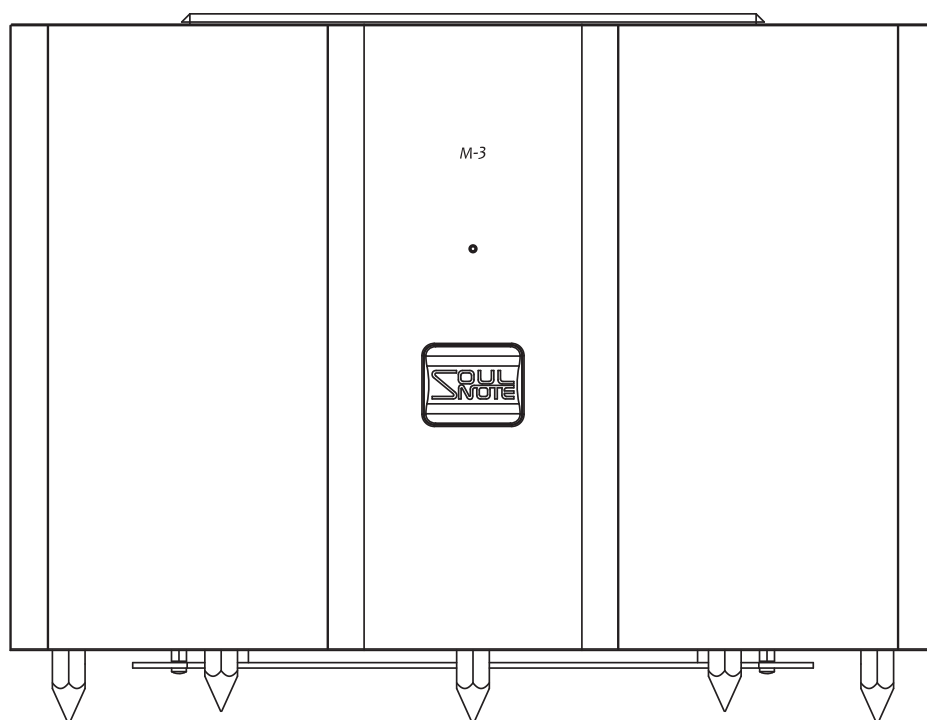


**SOUL
NOTE**

M-3X 取扱説明書

MONOBLOCK POWER AMPLIFIER



お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、
ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店へお問い合わせください。

目 次

安全上のご注意	3
本製品の特徴	6
設置の前に	8
設置の手順	9
前面パネルの名称とはたらき	11
後面パネルの名称とはたらき	12
電源ケーブルの接続について	13
故障とお考えになる前に	13
保証・アフターサービスについて	13
お手入れ	14
規 格	14
音楽鑑賞のエチケット	15
著作権について	15

*付属品

• 電源ケーブル	1	• 六角レンチ (専用ラック用)	1
• スピーカーケーブル	2	• スパイク (専用ラック用)	3
• 専用ラック	1	• 六角スパナ (スパイク用)	1
• ポール (専用ラック用)	3	• 設置用プレート* ¹	1
• 固定ワッシャー (専用ラック用)	3	• プレート固定用テープ* ¹	6
• 固定ネジ (専用ラック用)	3		
		* ¹ シリアル番号の末尾が「A」の製品にのみ付属されています。	
		• 取扱説明書 (本書)	1
		• 保証書	1

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共にならず保管してください。

— 絵表示について —

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。	図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。
	△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。	図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

 警告	
  電源プラグをコンセントから抜く	● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	 接触禁止
	● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 水場での使用禁止	 電源プラグをコンセントから抜く
	● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。 ● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。 ● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。 ● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ この機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・ この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・ テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。



- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- この機器の上でろうそくなどの炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対はずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されています。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。



注意



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- オーディオ機器、テレビ、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意

 電源プラグをコンセントから抜く ● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。 ● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。	 ● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス+端子とマイナス-端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
 ● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス-の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 ● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
 ● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 ● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいってください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池収納部についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。
 ● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）にしたがって処理してください。	 電源プラグをコンセントから抜く ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 電源プラグをコンセントから抜く ● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。	 ● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
 ● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。	 ● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ● この機器の上にテレビやオーディオ機器などをのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。 ● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
 ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。	 高温注意 ● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。
 ● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。	 ● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
 ● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。	

本製品の特徴

新開発のトランジスタペアリング手法

音楽再生時のトランジスタの電流変化により、時間軸上で刻々と変化するhfe（電流増幅率）の変動率までも揃える、厳密なペアリング手法を新たに開発しました。多数のトランジスタについて、様々な電流値でのhfe測定データをインプットし、すべての組み合わせに対してユークリッド距離を算出し、基準値以内（測定誤差を考慮すると同一と見なせるレベル）のトランジスタペアを選び出します。この手法により、シングルプッシュプルに匹敵する「滲みのないパラレルプッシュプル」が実現できました。出力段のトランジスタにはM-3で採用した産業用TO3（メタルキャンタイプ）トランジスタのペアを採用。また2つのTO3トランジスタを軽々とドライブするために、ドライバー段にもTO3Pトランジスタを採用し、トータル4段ダーリントン構成としました。

バスバー兼用銅板ヒートシンク

メインヒートシンクには、従来の大出力アンプではあり得ない、軽量小型銅板製ヒートシンクを採用。このヒートシンクはキャンタイプトランジスタへの給電バスバーを兼ね、キャンタイプトランジスタの端子はバスバーを貫通し、直下の基板に直接マウントされます。キャンタイプトランジスタの欠点でもあるワイヤー配線を排除し、インダクタンス成分に起因する不安定さを払拭すると同時に、絶縁シートがデバイスをダンブすることによる音質劣化をも排除しました。また、ヒートシンクがシャーシから物理的に独立する事による解放感や透明感など、音質的な効果も絶大です。まさに一石三鳥のヒートシンクなのです。さらにM-3Xでは、絶縁シートの排除によりトランジスタの温度結合が高まり、温度差に起因する時間軸のにじみも排除できました。

電圧増幅段にはパワーアンプ専用に再設計した無帰還差動回路(新型Type-R回路)を採用

ゲインの無い差動回路と、エミッタホロア、そして電圧をフルスイング増幅するのは、たった1個のトランジスタ。そして、このトランジスタの負荷抵抗がGNDのみに接続される「対GND単段増幅シングルエンド無帰還回路」です。バイポーラトランジスタ4個と抵抗10本のみで構成されるこの新型Type-R回路は、真空管シングルアンプと基本的に同じでありながら、さらに合理的に広帯域フルスイング出力を取り出します。これ以上考えられない、リファレンスと呼ぶにふさわしい理想的な無帰還回路です。

超シンプル構成

大電流を扱うパワーアンプは単機能に徹するべき、と言う発見からM-3は誕生しました。入力端子もスピーカー端子も1組。セレクターやアッテネーターはもちろん、あらゆる切り替えが存在しない、単機能モノブロックパワーアンプです。XLR端子から入力された信号は、ダイレクトに初段トランジスタのベースに接続され、単段増幅され、シングルプッシュプルで出力されるだけです。操作するのは電源スイッチのみ。もちろん、マイコン系などの余計な回路や部品は一切存在しません。

超低銅損1600VA未含侵トロイダル電源トランス

「1人で持ち運びが可能」と言う条件で許される、最大サイズの電源トランスを開発しました。巨大な電源トランスはリーケージフラックスの方向が基板と平行になるようにフロントパネルに垂直マウントされ、有害な振動が筐体に伝わらないようにチタンワッシャーで浮かされた上で、直下の1点スパイクで接地されます。

ハイスピード無帰還電源

整流コンデンサには特別に選別された僅か470 μ Fの高耐圧小容量低倍率箔フィルターコンデンサを採用。その使用本数で容量を最適化し、電源トランスの負荷を軽減する事で、超強力な電源トランスの実質レギュレーションをさらに向上させています。また整流ダイオードには、許容突入電流値が強化された最新スペックのSiCダイオードを新たに採用。考えうる最強かつハイスピードな電源構成です。

アンプコンテナはメイン筐体から完全に分離し、スパイク3点支持で自立

M-3/M-3Xには、メインの筐体にスパイク足3本、アンプコンテナにスパイク足3本の、合計6本のスパイク足が存在します。物理的に完全に分離した2筐体でありながら、電源トランスからの給電ラインを最短にして、トランスの振動やリーケージの影響を排除します。考えられうる理想的なコンストラクションによる圧倒的な音質への効果は、輸送ネジを着脱することで体験可能です。もちろん、天板、AC アダプタ、スピーカー端子、入力端子、底板は、音質のために全て無固定化されています。

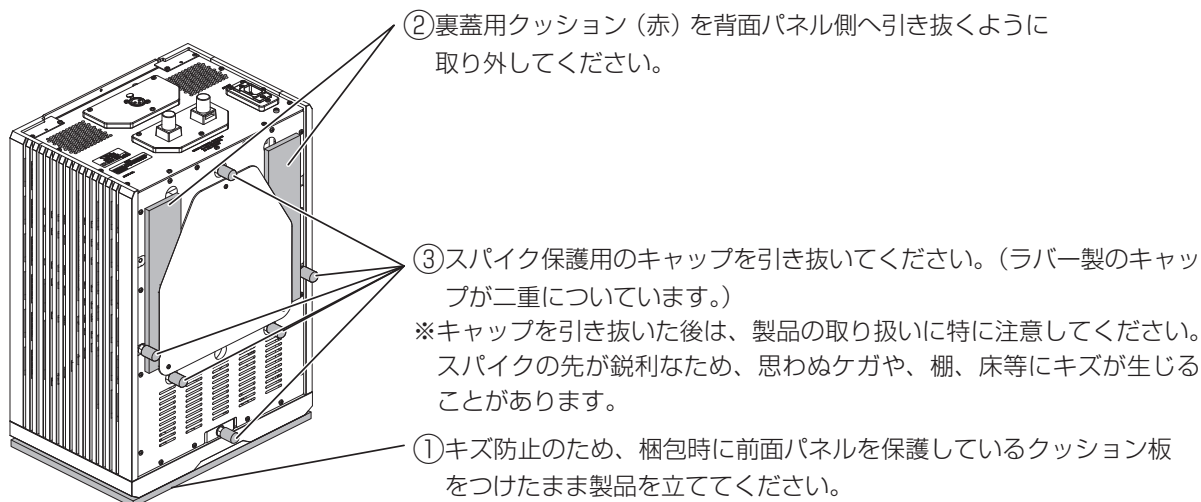
- さらに詳しい解説は、SOULNOTE ホームページ、またはFacebookをご覧ください。
<https://www.kcsr.co.jp/soulnote.html>

設置の前に

■ 輸送用クッションの取り外し

開梱の際には、輸送クッションを必ず外してください。

輸送クッションが挿入されたままの状態では、本来の音質を発揮できません。



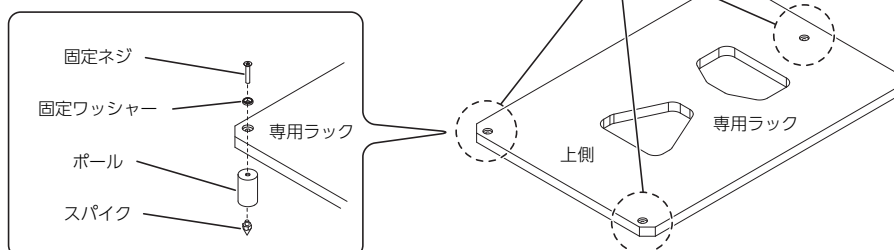
⚠ 注意

- 本製品は音質を最優先とし、トップカバー、ボトムカバー、後面端子パネルを固定していません。
- 本製品を持ち上げると音がしますが、異常ではありません。
- 再輸送する際には、輸送クッションを元の位置に挿し込んで梱包してください。
- スパイクの先端は非常に鋭利になっています。輸送キャップを外した際には、けが等には十分にお気を付けください。また、スパイクによってテーブル、棚、床等の表面に傷が生じることが有るため傷防止のため、付属の専用ラックをご使用ください。

■ 専用ラックの組み立て

付属の専用ラック（3ヶ所）にポールを取り付けます。

- 平らな面に、ポールを取り付けます。
- 穴の周囲が凹になっている方が、上側（製品を設置する側）になり、固定ワッシャーおよび固定ネジを取り付けます。



※スパイクによって、本製品を設置する場所に深い傷を付けたくない場合は、スパイクを外した状態でご使用ください。ただし、ポールはアルミ製のため、スパイクを外しても床に傷をつけることがあります。

設置の手順

最初に専用ラックを設置し、位置や向きを調整します。
専用ラックを設置したあとに、本製品を置いてください。

※専用ラックの方向は、ポールが2本ある方が前面になります。

①専用ラックの上に、設置用プレートをお願いします。

※設置用プレートは、シリアルNo.の末尾がAに付属されています。

※専用ラックと設置用プレートの外形（前面と側面）を合わせて置き、付属のプレート固定用テープで固定してください。

②設置用プレートに貼ってあるクッションに合わせて、本製品を真上から置きます。

③真上から見て、専用ラックの後ろ側のネジ部の凹穴の外周と、スピーカーターミナルの先端の位置が合うように、本製品の位置を調整してください。

※このとき、本製品を引きずるように移動させると、設置プレートごと動いてしまうので、ご注意ください。

④設置用プレートの切り欠きと、本体用スパイクの位置が合うように本製品の位置を微調整してください。

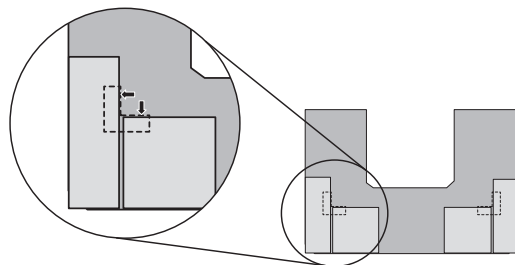
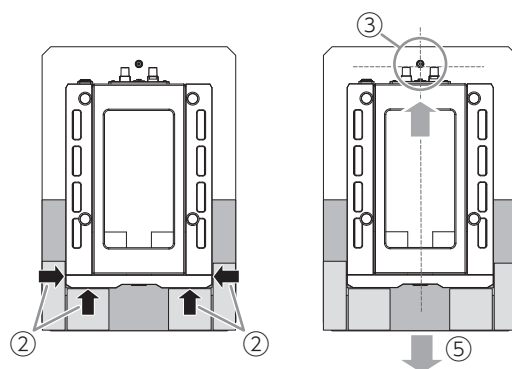
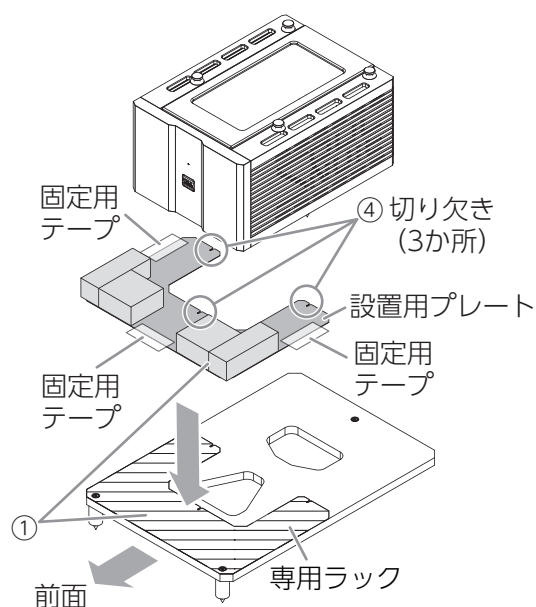
⑤設置用プレートを固定したプレート固定用テープを剥がし、設置用プレートを前面パネル側に引き抜いてください。

※本製品や、専用ラックのスパイクの先端は非常に鋭利になっているため、ケガや、破損には十分にお気をつけください。

※本体は非常に重いため、設置の際には充分にお気を付けください。思わぬケガや、破損の原因になることがあります。

※本製品と専用ラックの位置が大きくずれてしまうと、アンプコンテナ部のスパイクが、専用ラックから外れてしまい、本来の音が再生できなくなります。

※開梱時に、万が一クッションが剥がれていた場合には、専用ラックのL字型の穴に合わせて、クッションを貼りなおしてください。



■ アンプコンテナ部について

⚠ 注意

- 購入時には、アンプコンテナ部が、本製品の上面に吊り下げられている状態になっています。上面のネジをはずすことによって、内部のアンプコンテナ部が下がり、本体から物理的に分離します。

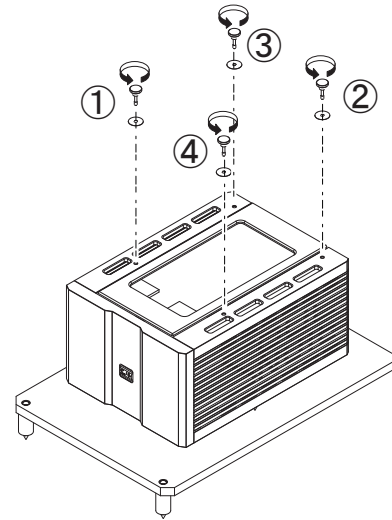
アンプコンテナ部の設置手順

右図の①と②（または③と④）のネジを、矢印の方に回して外します。

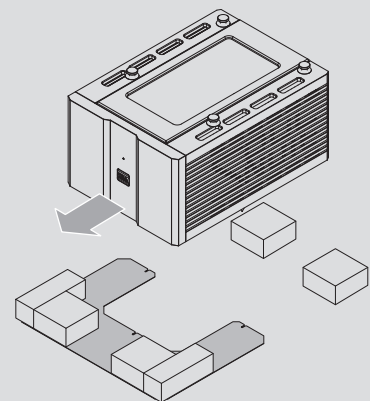
次に③と④（または①と②）のネジを、同時に少しずつ矢印の方向に回して、アンプコンテナ部を下ろします。

※ネジを外した後、4ヶ所の穴を真上から見て、奥のネジ穴が大きくずれてしまった場合、アンプコンテナ部が斜めに下りた可能性があります。その場合、アンプコンテナ部のスパイクが、本体の底板に当たっている可能性があるため、本機の性能が十分に発揮出来なくなります。その際には、製品を一度持ち上げて、再度まっすぐに下ろしてください。持ち上げたときに、アンプコンテナ部の位置が矯正されます。製品を下した後に、ネジ穴を真上から見て、ネジ穴がずれたままの場合は、もう一度試してください。

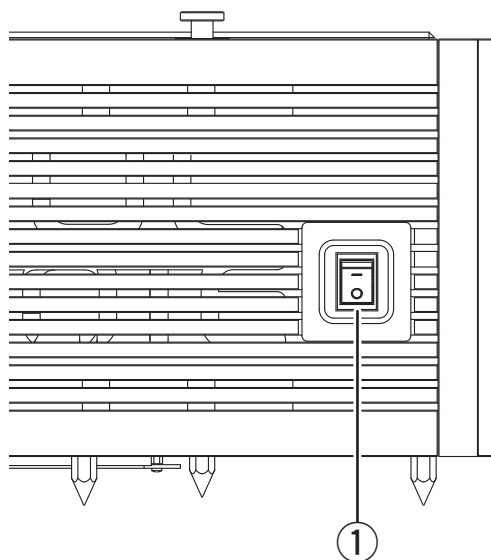
※製品を持ち上げる際には、キズ防止のために、設置用プレートを使用してください。



※再輸送の際には、上記と逆の手順でネジを最後まで締めてコンテナ部を固定してください。設置プレートを少しずらして前面パネルを乗せ、付属のクッションブロックを使って、後面パネル側の角を乗せるとスパイク脚が浮き上がり、コンテナ位置が矯正されます。コンテナ位置が矯正されることによってネジが締めやすくなります。

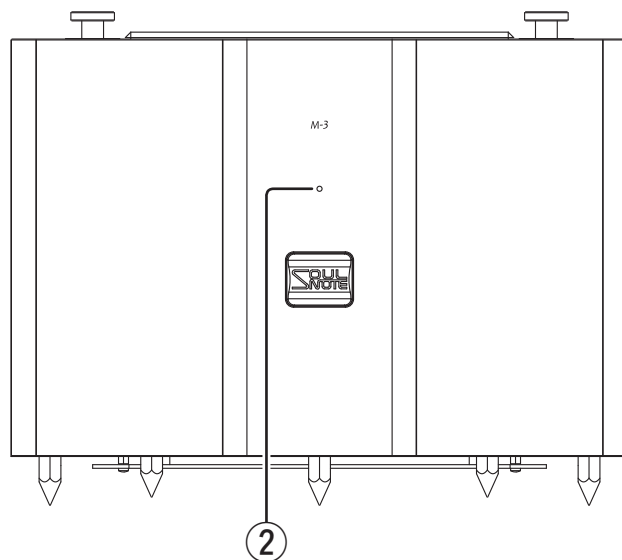


前面パネルの名称とはたらき



① 電源スイッチ

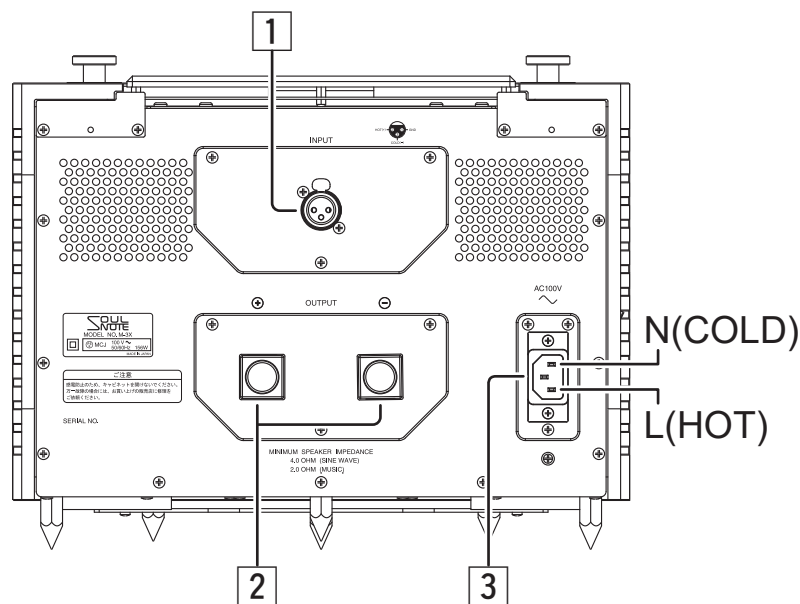
「－」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。



② 電源インジケータ

電源が入ると黄色に点灯し、ミュート解除後に白く点灯します。

後面パネルの名称とはたらき



① 入力端子(XLR)

XLRコネクターケーブルによるバランス（平衡）音声信号を入力する端子です。

本機は、②ピン=HOT ③ピン=COLDです。

② スピーカー端子

スピーカーシステムを接続する端子です。2.7Ω以上のスピーカーが接続できます。

※入力端子およびスピーカー端子にケーブルを接続する場合、またはスピーカーケーブルに接続されたスピーカーをつなぎ替える場合は、かならず電源を切ってください。

※本製品は周波数特性が非常に優れているため、スピーカー以外の機器は絶対に接続しないでください。スピーカーセレクターや測定器などを接続した場合、入出力のGNDが高周波的につながり、保護回路が作動したり、故障の原因になる場合があります。

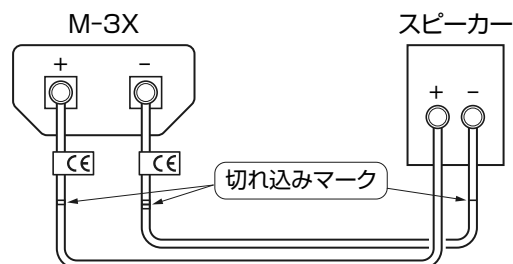
※スピーカーケーブルと入力ケーブルはできるだけ触れないようにしてください。

※出力端子には、プラス（⊕：赤色）とマイナス（⊖：黒色）の極性があり、またスピーカーシステムにも極性（⊕と⊖）があります。接続する場合は、必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）に接続してください。

※音質上、付属のスピーカーケーブルをご使用ください。

● 付属スピーカーケーブルについて

スピーカーケーブルには方向があります。CEマーキングラベル側を本製品のスピーカー端子に接続してください。



切れ込みマーク

- なし：スピーカー⊕に接続してください。
- 1：スピーカー⊖に接続してください。
- 2：アンプ⊕に接続してください。
- 3：アンプ⊖に接続してください。

③ ACインレット(AC100V)

付属の電源ケーブルを取り付けて、AC100Vのコンセントに接続します。

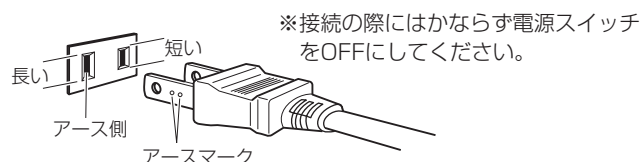
※アース端子と内部のグラウンドは接続されていません。

※音質上、付属の電源ケーブルをご使用ください。

※電源ケーブルをACインレットに接続する際は、フロントパネルをしっかり押さえて、奥まで強く差し込んでください。

電源ケーブルの接続について

接続する際、電源ケーブルプラグのアースマーク（丸い刻印2個）がACコンセントのアース側（穴の長い方）になるように接続してください。極性が逆になると、本製品の実力が十分に発揮できない場合があります。



故障とお考えになる前に

*音が出ない

- 電源は入っていますか？
- 外部機器は正しく接続されていますか？
- 外部機器の電源は入っていますか？
- 外部機器の操作および設定は適切ですか？
- スピーカーシステムは正しく接続されていますか？

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
2. 本体の保証期間はご購入日より1年間です。
保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、取扱説明書の裏面に記載のSOULNOTEカスタマーサポートへお問い合わせください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度 **故障とお考えになる前に** をご参照の上よくお調べください。
それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、取扱説明書の裏面に記載のSOULNOTEカスタマーサポートへお問い合わせください。

ご連絡いただきたい内容

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1) 品 番 | M-3X |
| 2) 製 番 | セット裏面及び保証書に記載されています |
| 3) お買い上げ日 | 年 月 日 |
| 4) 故障の状況 | (できるだけ具体的に) |
| 5) ご住所 | |
| 6) お名前 | |
| 7) 電話番号 | |

修理のお問い合わせ、修理品送付先 株式会社 SOULNOTE

〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号
TEL 042-711-6001

お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れを拭きとったあと、乾いた布でから拭きしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変色・変質する場合がありますのでご注意ください。

*ヒューズの交換

万一、ヒューズが切れた場合は、お買い求めの販売店、またはSOULNOTEカスタマーサポートへご連絡ください。

規格

最大出力	240W (2.7Ω)
全高調波歪率	0.1% (1W)
周波数特性	2Hz ～ 200kHz (±1dB)
入力感度/インピーダンス	2V/25kΩ
ゲイン	22dB
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	156W (無音時)38W

最大外形寸法

.....	340mm(W)×251mm(H)×512mm(D)
質量	31kg

音楽鑑賞のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



著作権について

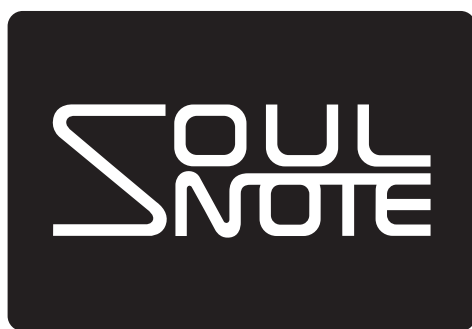
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
音楽の歌詞、楽曲などは著作権法によって保護されていますが、放送やCD、レコード、その他の録音物（カラオケテープ・ミュージックテープなど）も同じように著作権法により保護されています。したがって、それから録音したものを

- ・売ったり、配ったり、あるいは譲ったり、貸したりすること
- ・営利（店のBGMなど）のために使用すること

は、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部、もしくはもよりの支部におたずねください。

お問い合わせ情報につきましては、日本音楽著作権協会（JASRAC）のホームページにてご確認ください。

<https://www.jasrac.or.jp/index.html>



株式会社 SOULNOTE

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

SOULNOTEカスタマーサポート

042-711-6001

e-mail: support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土 日 祝日を除く)